

建築デザイン Architecture Design No,3

千葉県立市川工業高等学校 建築科 平成 25 年 7 月 1 日



市川工業高等学校へ入学したきっかけは？

ある時読んだ本の中にあった、ねじれた 50 階くらいのビルを見て大変感動しました。そのときから、自分でも建物を造りたいと思うようになりました。国分高校に行こうかとも考えましたが、**建物を造るという夢をかなえるために、建築学科のある市川工業高等学校にしました。**



小さいときに夢見ていた、ねじれたビルが最近では実際に建築されるようになってびっくりしています。ますます建築の魅力に取り付かれていきます。

東国分中学校 出身
ししど かずみ
穴戸 一美 さん

どのような学生時代でしたか？

中学校では、ボランティア部でハンドベルを演奏し、高校では吹奏楽部でフルートを担当していました。吹奏楽部では、野球部の応援にも行き大いに盛り上がりました。

卒業設計では、橋梁設計・橋梁模型を制作しました。壊れないように工夫し、苦勞しましたが、よいものが完成させることが出来ました。「建物を造る」というしっかりした目的のある建築学科に入学したので、楽しく充実した 3 年間で過ごすことが出来ました。

市川工業高校卒業後は国立千葉大学工学部都市環境システム学科に、推薦で入学しました。



現在は？

大学を卒業してから千葉県松戸市にある鈴木建築設計事務所にて、**耐震診断業務※**を行っています。千葉県全域の学校や、体育館などの耐震診断を行い、人々の安全を守っています。デスクワークだけではなく、時にはヘルメットをかぶり作業服を着て建物を調査しに行くこともあります。学生ときから夢であった建築にかかわる仕事が出来て、大変うれしく思っています。

仕事をしている今でも、**市川工業の建築の授業で書いたノートを見返して使っています。**



※耐震診断（たいしんしんだん）とは、地震などの揺れによって建物が受ける被害がどのくらい大きいのか、安全かどうかを調べて判断すること。

これからの夢は？

今は先輩の補助が中心なので、早く一人で仕事出来るようになりたいです。

「**建築はみんなの生活を豊かにして、安全を守る大切な重要な仕事だと思います。**」



市川工業高等学校建築科は、将来に役立つ、そして誰かのために役立てる人間になれるような学習をしています。